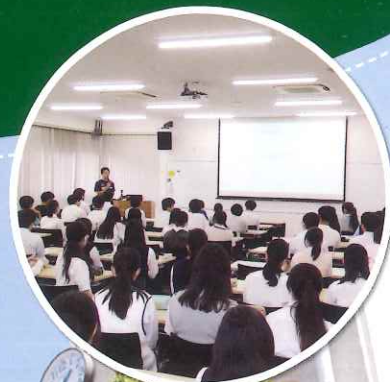


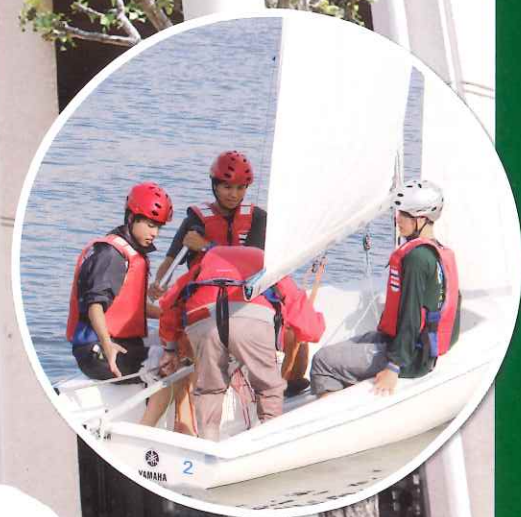
創立84年を迎えた伝統と創造の学び舎

兵庫県立 芦屋高等学校

令和6年度版



自分の「好き」を信じてみよう



創造の学び舎

芦屋高校の 特色と魅力

普通科単位制

普通科単位制とは

単位制高校とは、学年による教育課程の区分を設けず、決められた単位を修得すれば卒業が認められる高等学校のことです。学年ごとの進級認定を行わず、3年間で卒業までに定められた単位を修得するシステムになっています。

それぞれの年次で担任と各課の教員がチームとなって、生徒一人一人が進路希望に応じて何を選択すべきかを、丁寧にサポートする体制を整えています。

しっかりと学べる環境

教員数が多く、習熟度別授業や選択科目など少人数指導を数多く実施しています。
先生との距離が近く、お互いの顔がよく見える、丁寧な学習指導が本校の特徴です。

ユニークな選択授業

自分だけの時間割

本校では、多彩な選択科目が設置できる単位制のメリットを生かし、進路希望に応じた選択科目をたくさん用意しています。

本校独自の学校設定科目

マリンスポーツ実習、油彩画、E-input、芦屋モダンイズム、暮らしの中の書、調理科学、未来科学など。

高大連携講座

大学に行って、通常の大学の講義を大学生とともに受講します。本校の選択科目として扱います。
関西学院大学、甲南大学など

新しい時代に向けて

キャリア教育

進路や職業を考える 充実した取り組み

進路実現に向けて、学校一体となって、体験活動を重視したキャリア教育を実施します。
AUSS 進路ナビ
AUSS キャンパス など。

進学へ向けて

入試準備へ向けて手厚くサポート。学習指導はもちろん、探究活動、面接練習、小論文講座など盛りだくさん。

芦高タイム

(総合的な探究の時間)

自分自身のことや社会について、体験活動を通して論理的に考え、生きる力を育みます。

ICT 活用教育

1人1台端末

全ホームルーム教室にプロジェクタやWi-Fiを整備し、入学時に購入していただく1人1台のタブレット端末を活用した教育を行います。

グローバル教育

外国人生徒の受け入れ

渡日3年以内の生徒を対象に特別枠選抜を行い、1年間、日本語など必要な学習支援を行います。
取り出し授業 日本語授業
放課後学習
活動拠点(※IEルーム)の設置

※IEルーム:International Education Room

オーストラリア 語学研修旅行

夏休みに2週間、オーストラリアで語学を学び、ホームステイで現地の高校生と交流します。

国際交流

台湾の新北市立三重高級中学(姉妹校)とは長年のつきあい。日本の良さを英語で伝えます。

あなたの夢を実現します!



自分たちで作る芦高の伝統

自治会活動

自治会

芦高では「生徒会」のことを「自治会」と呼びます。校訓「自治・自由・創造」を基盤に、生徒が主体となった「自治会」活動が盛んです。記念祭(文化祭)を始め、様々な学校行事の運営を担います。

指導委員

毎年4月、新1年生の各クラスに、自治会から「指導委員」が派遣されます。「指導委員」は、自治会の仕組みや学校行事、校歌などについて、朝や授業後のホームルームで1年生に教え、伝統の「自治精神」を伝えていく重要な役割を担っています。1959年から代々受け継がれている取組です。

卒業生に支えられて

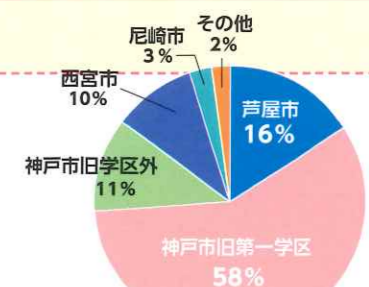
約3万人の卒業生

創立84年を迎える本校の卒業生は約3万人。多くの先輩たちが社会で活躍し、芦高生の活動を支えています。

広い地域から

推薦入試は兵庫県全域から

推薦入試は兵庫県全域から受検できます。芦屋市・神戸市だけでなく、阪神間など広い地域から集まっています。



教育課程 令和6年度入学生(82期生)

本校では、単位制のメリットであるさまざまな選択科目を学ぶことができます。学力を高めるための科目、知的好奇心をくすぐられる科目、本格的な実技に取り組む科目など多彩な授業を用意しています。
自分の学びたい科目がきっと見つかるはずなので、自分の「好き」を追究してください！

自ら学び自ら考え、自分探しをしよう

※ は、卒業に必要な科目

1年次	現代の国語	言語文化	歴史総合	公共	数学Ⅰ	数学A	物理基礎	生物基礎	体育	保健	芸術Ⅰ	ケーシヨンⅠ	英語コミュニケーション	論理・表現Ⅰ	情報Ⅰ	芦高タイム(総合)	LHR
単位	2	2	2	2	3	2	2	2	3	1	2	3	2	2	1	1	1

※芸術Ⅰは、音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰ(3講座)より1科目選択

2年次	体育	保健	地理総合	化学基礎	家庭基礎	ケーシヨンⅡ	英語コミュニケーション	論理・表現Ⅱ	探究 古典	探究 古典	国文学	国文学	数学Ⅱ	数学B	化学	物理 生物	芦高タイム(総合)	LHR	
単位	2	1	2	2	2	4	2	2					15		①	②	③	1	1

2年次 選択科目 ※は2,3年次共修科目

- 選択①**
古典文学を読み解く 音楽Ⅱ 美術Ⅱ 書道Ⅱ 実用英語 生活研究 数学Ⅱ 生物
- 選択②**
日本思想・文化研究 世界思想・文化研究 演奏法の基礎 生活造形 漢字書法 E-output スポーツ入門 数学Ⅱ 生物
- 選択③**
<言葉の力>を高める 映画に見るアメリカ文化と歴史
※芦屋モダニズム 数学研究Ⅰ ※アクティブスポーツ実習
※油彩画 E-output 韓国語 中国語 数学B 高大連携講座 ※マリンスポーツ実習



芦屋モダニズム



3年次	体育	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	文学国語	文学国語	古典探究	古典探究	数学Ⅲ	数学研究C	数学研究D	世界史探究 日本史探究 地理探究	物理 生物	情報	選択①	選択②	選択③	選択④	選択⑤	選択⑥	数学C	化学	芦高タイム(総合)	LHR
単位	2	4	2											21								1	1

3年次 選択科目 ※は2,3年次共修科目

- 選択①**
評論から〈現代〉を考える 地域と人間生活 スポーツ総合 E-input 英語探究 ファッション造形基礎 数学研究B
- 選択②**
歴史ゼミナール ※芦屋モダニズム 未来科学 ※マリンスポーツ実習 音楽・器楽 ※油彩画 暮らしの中の書 フードデザイン 数学研究A 高大連携講座 評論から〈現代〉を考える 英語探究 ※アクティブスポーツ実習
- 選択③**
評論から〈現代〉を考える 日本史研究 世界史研究 地理研究 ネオデザイン 小アンサンブル 漢字仮名交じりの表現 発展生物 発展物理 化学基礎研究 英語探究 調理科学
- 選択④**
世界史研究 日本史研究 数学C 音楽Ⅲ 美術Ⅲ 書道Ⅲ 生物 化学基礎研究 英語探究 実用英語 情報デザイン 生活研究
- 選択⑤**
評論から〈現代〉を考える 世界史研究 日本史研究 数学研究A 物理基礎研究 生物 化学基礎研究 E-input 生物基礎研究 保育基礎
- 選択⑥**
政治・経済 倫理 古典文学を読み解く

マリンスポーツ実習



キャリア教育

進路実現にむけて

自身の適性や興味関心を知り、将来像を思い描く一助として、また、具体的に進路をイメージできるよう体験学習を取り入れた進路支援を展開しています。

AUSS 進路ナビ

本校を卒業した大学生の講話を聞き、大学の魅力や特徴、大学に合格するための心がまえ、高校生活の過ごし方や学習方法、進路決定に役立つ体験談を聞き、自身の姿と照らし合わせ将来への展望を描く機会とします。



AUSS キャンパス AUSS インターンシップ

大学教員を招いての大学・学部・研究内容等の紹介の機会や就職・公務員志望者への職場体験の機会を設定し、進路意識を高めます。



進路ナビ感想

国公立大学文系学部合格の先輩の話を聞いて

3年生になってから受験までの長い期間のペース配分や使っていた問題集、疲れた時のリラックス法など、先生から聞くことのできない体験談を聞けました。勉強がんばることはわかっていても、どうすればよいのか困っていましたが、自分なりに工夫して勉強法を見つけようと思えました。一番印象的だったのは、毎日の授業を大切にということです。基本をきちんとマスターすることが受験勉強の第一歩だと改めて感じました。

進路へ向けてきめ細やかなサポート

夏季・冬季補習

長期休業中には普段の授業では経験することのできない専門性の高い内容や、志望校に応じた受験対策に特化した講座を開講しています。また、書道実習や水泳実習など様々な実習講座も開かれています！

小論文講座

現在の大学受験では必須となっている小論文についてもしっかりとサポート。専門の外部講師を招き、より実践的な内容を学び、実際に小論文の模擬試験を受験し、対策を重ねています。

個人面接指導

面接もそれぞれの志望校に合わせて実践的なトレーニングを重ねています。担任だけでなく進路課、それぞれの専攻に合わせてチーム芦高として生徒個人へオーダーメイドの指導を行っています。



卒業生 合格体験記

鳥家 淳真 (上野中)
関西学院大学国際学部【一般選抜】

僕は受験において最も大切なことは「後悔しないこと」だと思います。せっかく大学に行くならば、序列の高い大学に行きたいでしょうが、そういった理由で大学を決めてしまうと必ず後悔が残ります。ただ逆に偏差値を理由に受験を諦めないでほしいです。僕は現在、自分の目的に合致する学部へ通っていますが、偏差値でいうと3年の夏休み時点で20以上の差がありました。それでも受験を諦めなかったのは本気でそこに行きたいと思っていたからです。できるだけ沢山の大学に行き、本気で目指したいところを見つけることが大切で、そこが定まると努力を継続することができるのだと思います。

南 咲彩 (本庄中)
京都教育大学教育学部【学校推薦型選抜】

私は、2年生の頃から京都教育大学を志望しており、推薦で合格するために、学校の勉強にひたすら力を入れていました。京都教育大学の推薦入試は共通テストを課しませんから小論文と面接の練習を徹底して行いました。小論文を国語の先生に毎日のように添削していただき、口頭試問のため日本史の先生に面接練習を付き合っていたいただきました。大学入試は最後まで何が分かるか分かりません。どうか諦めないでください。

北山 颯太 (兵庫中)
琉球大学教育学部【一般選抜】

私は受験を意識し始めた高校二年生の時、国公立大学への進学は厳しいと面談の時に言われました。その言葉に何も言い返すことができず悔しかった私は、陸上部の活動と勉強の両立させることを決意しました。部活動後も疲れはあったのですが、家庭学習での基礎基本の徹底に毎日取り組みました。考査前は先生方へ質問に通うことで弱点を克服し、少しずつ成績を上げていきました。時には挫折そうになることもありましたが、その度に「部活と勉強の両立」という目標を見失わないように努力を続け、琉球大学に合格することができました！

探究学習の推進

本校では、「総合的な探究の時間」を通して、自ら学び・自ら考える姿勢を大切にしながら社会の諸課題に目を向け、課題解決に向けて探究活動に取り組みます。

また、アイデンティティの確立を目指し、生きる力を育成します。

1. 進路について考える

- ・自らの適性や関心をもとに進路について考えます。
- ・どのような学問分野があるかを調べ、それを学ぶための進路について考えます。
- ・職業について知り、将来の自分と社会のかかわりについて関心を高めます。

2. 地域について考える

- ・芦屋市を中心にまちの特徴を分析し、抱える課題について調べます。
- ・芦屋市の課題の解決について、具体的な方策を探究します。
- ・地域の課題から社会の課題についての関心を高めます。
- ・インターネットで調べたことをもとに、自ら体験したり、地域の人にインタビューを行ったりすることで、自らの考えを深めます。
- ・各班で考えた意見をクラスや全体で発表をします。

3. 社会の課題について考える

- ・SDGsの視点のもとに、自ら研究テーマを設定し、課題解決の方法について考えます。
- ・自分の学問分野についての興味・関心のもとに、研究テーマを設定し、探究していきます。



生徒一人一人の進路実現

過去3年間のおもな進学先

●大阪大学・神戸大学・大阪教育大学・千葉大学・岡山大学・富山大学・和歌山大学・滋賀大学・鳥取大学・島根大学・愛媛大学・徳島大学・京都教育大学・九州工業大学・琉球大学 他

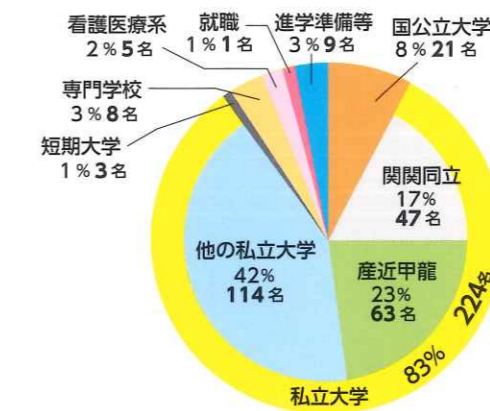
●兵庫県立大学・大阪公立大学・神戸市外国語大学・神戸市看護大学・芸術文化観光職大 他

●関西大学・関西学院大学・同志社大学・立命館大学・京都産業大学・近畿大学・甲南大学・龍谷大学・青山学院大学・上智大学・明治大学・法政大学・中央大学 他



進路状況

令和5年度 卒業生 (79期生) 271人の進路先



過去3年間の主な大学別合格者数

※令和6年度卒業生から定員320→280名になりました

国公立大学	令和6年		令和5年		令和4年	
	現	過	現	過	現	過
北教大			1			
富山大	1					
滋賀大	1				1	
京都教育大	3					
大阪大		1			1	
和歌山大			1			
鳥取大	1		1	1	2	
岡山大	1					
山口大	1					
徳島大	2		3	1	1	
愛媛大	1		1		1	
高知大	1	1				
九州工大			1			
琉球大	1					
京都市立芸大				1		1
大阪公立大			1			
神戸市看護大	1	1	1	1		
兵庫県立大	4	6	1	4		
芸術文観光職大	1					
奈良県立大	1					



私立大学	令和6年		令和5年		令和4年	
	現	過	現	過	現	過
青山学院大	6					
国学院大	1	1	2			
専修大	1		1			
中央大			1			
東海大	5					
東京農大	2	2				
法政大	2					
明治大	2					
明治学院大			2		1	
京都外大	1	3				
京都産大	15	10	4	16		
京都女子大	5	2	5			
京都芸術大(京都造形芸大)	1	3	1	2		
同志社大	10	1	15	10	2	
立命館大	5	13	1	20	5	
龍谷大	28	22	34	2		
追手門学院大	22	26	30			
大阪経大	30	18	17			
大阪工大	26	14	3	12		
近畿大	129	5	106	5	153	
関西大	47	2	42	6	34	7
関西外大	20		28		19	2
関西学院大	54	8	75	7	81	3
甲南大	47	4	76	1	80	
神戸学院大	47		112	6	64	
神戸女子大	4		7		29	
神戸親和(神戸親和女子大)	1		14		4	
兵庫医大(兵庫医療大)	5		5		7	
武庫川女子大	50	1	72		94	

部活動

運動部

- 男子バスケットボール
- 女子バスケットボール
- 男子テニス ●女子テニス
- 男子ソフトテニス ●女子ソフトテニス
- 男子バレーボール ●女子バレーボール
- 硬式野球 ●サッカー ●ラグビー
- 陸上競技 ●水泳 ●卓球 ●弓道
- 剣道 ●柔道 ●ヨット ●カヌー

文化部

- 華道 ●写真 ●家庭科研究
- 美術 ●茶道 ●吹奏楽
- コーラス ●ギター研究
- 数理科学研究 ●将棋
- 漫画研究 ●鉄道研究
- 書道 ●E S S

書記外局

- 放送 ●応援団リーダー
- 図書出版 ●ボランティア

同好会

- ダブルダッチ



1年の主な行事予定

4月 APRIL

入学式 芦高一揆 (文化部の紹介)
校外学習

5月 MAY

定期戦
(県立西宮高校と15の部活動で競技)

6月 JUNE

記念祭 (文化祭)

7月 JULY

球技大会 オーストラリア語学研修

8月 AUGUST

学校説明会 (26日)

9月 SEPTEMBER

体育祭

10月 OCTOBER

AUSS キャンパス・インターンシップ
オープンハイスクール (26日)

11月 NOVEMBER

ウェルカムウィーク (1~7日)
修学旅行

12月 DECEMBER

AUSS 探究ナビ 防災訓練

1月 JANUARY

AUSS 進路ナビ

2月 FEBRUARY

AUSS探究ナビ

3月 MARCH

ジチカツフォーラム 球技大会
クリーンアップ作戦



● 自治会長 & 学校長より ~未来の芦高生へ向けて~ ●

● 自治会長の西村さん（本山中出身）と牧野校長（大社中出身）のお二人にお話を伺います。早速ですが、芦高の魅力について教えていただけますか？

●西村さん

芦高の魅力は本当に生徒が主役で活動できる学校だということです。芦高の校訓は自治・自由・創造を掲げているのですが、自治会に入って活動する中で「本当に校訓通りなんだ」ということに驚きました。記念祭などの行事では全体の計画から細かいルール作りまで自治会が中心となり、生徒が主体となって作り上げています。本当に苦勞も多いのですが、周りとの協力しながら多くのことに自分たちでチャレンジできる学校なのです。まさに校訓通り、生徒主体で活動できる環境があることが芦高の魅力だと思います。

●校長先生

芦高の魅力は生徒と先生がフラットな立場で一緒になって学校生活を作り上げていけることです。私は生徒と先生は車の左右の車輪のようなものだと思っています。お互いが気遣いながら進まなければ目的に進むことができない関係です。生徒も先生もお互いのことを見ながら、力を合わせて目標に向かって進んでいく、その調整能力が高い学校なのではないでしょうか。私も芦屋高校へ来て、自治会の人々を見ていて、すごくそうした力を持つてると感心しています。

● それでは、芦高の課題について教えていただけますか？

●西村さん

自治や自由を掲げて、それを活動で表現していくというのは自治会長として携わっていく中で本当に素晴らしいことだと感じました。自治会の活動に積極的に参加してくれる生徒も多いのですが、しかし、一方で自分ごととしてとらえきれていない、受け身な人もまだまだ多いということを感じています。昨年度もルールメイキングの中でさまざまな校則の改定やスマホルールの検討など、先生との話し合いの場を設けましたが、参加してくれる人はまだまだ少ないのが現状です。生徒一人一人が当事者意識を持ち、「こんな学校を作っていきたい」というような声が広がるようになれば、より良い学校を作っていけると思います。

●校長先生

芦高にはいろいろな人がいます。一人一人が、いろんな自分のやりたいことを持っていて、それに向かって一生懸命取り組んでい

る学校だと思います。一人ずつ自分のやりたいこと、好きなことをしっかり見つけて取り組んでくれているのはすごくいいところなのですが、もっと広い世界に目を向けてもらいたいです。同じ世代の高校生たち、芦屋という地域、能登地震の被災地や世界など、そうしたところへ目を向けて、さまざまなことに当事者意識を持っていくことができれば、芦高はもう一回り大きく成長することができると思います。

● 未来の芦高生へ向けてのメッセージをお願いします！

●西村さん

私自身も高校選びは本当に迷っていました。当時の自分は何をしたいのかははっきりしていませんでしたが、芦高を選んでよかったと思っています。それは、芦高は自分が何をしたいのかを逆に見つけにいける高校だったからです。実際に入学してみて感じることは、高校生活は自分の行動や考え方ひとつで、想像を超えるようなより良いものにできるということです。そして、何かを探している人、何かに挑戦してみたい人には自分を変えていくことのできる環境がそろっているのが本当におすすめの学校です！

●校長先生

芦高はいろいろなことにチャレンジして、本当の自分を知ることができる学校だと思います。部活動もたくさんあり、単位制ということで選択科目もたくさんあります。きっとその中で、それぞれの人が自分の「好き」を見つけることができるはずです。そうした「好き」を探しに芦高に来てくれると嬉しいです。また芦高で自分の「好き」を見つけると同時に、自分と異なっているもの、異なっている友達をぜひ見つけて欲しいと思います。自分と異なる考え方や人と会うことで、人間はその分だけ大きくなることができます。そういう意味でも芦高はみんなを成長させてくれる場所だと思います。

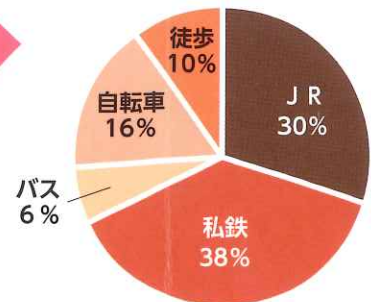


素敵なお話、
ありがとうございました！

交通アクセス

- JR「芦屋」下車 徒歩 10分
- 阪神「芦屋」下車 徒歩 8分
- 阪急「芦屋川」下車 徒歩 18分

通学手段



兵庫県立芦屋高等学校

〒659-0063 兵庫県芦屋市宮川町6-3

TEL 0797-32-2325 FAX 0797-32-2327

<https://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/kenashi-hs/NC3/>

芦屋高校

詳しくはホームページへ



芦屋高校
公式サイト